

竹信三恵子さん『賃金破壊』（増補版） 旬報社から待望の出版

2月10日初版/定価1700円＋税

「関西生コン事件」を描いた竹信三恵子さんの著書『賃金破壊』の増補版が出版された。前著は2021年11月発刊で、2022年前半にAmazon売れ筋ランキングで「ビジネス・経済」部門でベストセラーに。増刷を重ねたが品切れになっていた。

今回の増補版は、加茂生コン事件の逆転無罪判決（2021年12月大阪高裁）を皮切りに、関生支部が刑事裁判でつぎつぎに無罪判決を獲得するなど、反撃に移りだした2022～2024年の3年間の出来事を追った「補章」をあらたに書き加えている。

<補章の内容>

海外からの視線

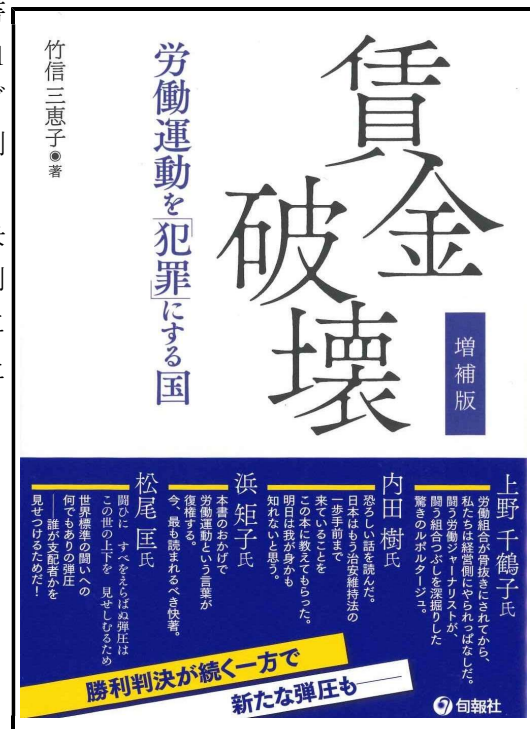
「物語」に合わせた切り貼り

11人の無罪確定を生んだもの

労働委員会の変質

同じ事実、分かれる判断

おわりに



2/12 院内集会

「関西生コン事件」の現在を問う

生コン業界と警察・検察が一体となって仕組んだ組合つぶし事件として問題視する動きや報道が広がりはじめています。

ギャラクシー賞選奨作品となったMBS「労組と弾圧」は今年3～4月、「TBSドキュメンタリー映画祭 2025」8作品のひとつとして全国6都市の映画館でも上映されます。

そこで、『賃金破壊』増補版を出版した竹信三恵子さん（ジャーナリスト）を迎えて、下記のとおり院内集会を開催します。

主催 関西生コンを支援する会

日時 2月12日（水）12:00～13:00

会場 参議院議員会館 B109号会議室（11:45 参議院議員会館1Fロビーで通行証を配布します。）

内容 主催者挨拶 染裕之（支援する会事務局長／平和フォーラム共同代表）

報告 竹信三恵子さん（ジャーナリスト）

「関西生コン事件」の現在を問う